

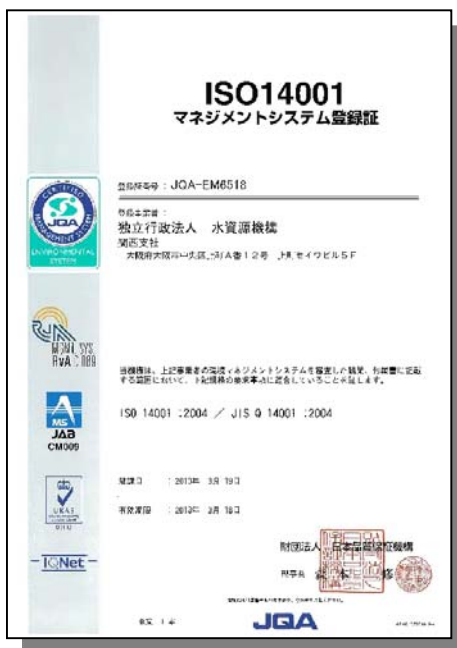
「ISO14001」の認証取得について

水資源機構では、事業の実施にあたり、環境への負荷の少ない持続的な発展が可能な社会の構築や、良好な地球環境保全に資することが当機構の社会的責務であるとの認識にたち、これまで種々の環境保全に対する取り組みを行ってきました。

この取り組みを一層充実させるため、独立行政法人水資源機構関西支社および管内の木津川ダム総合管理所、一庫ダム管理所、日吉ダム管理所では、(財)日本品質保証機構による登録審査を経て、平成22年3月19日に、ISO14001 の認証を取得しました。なお、管内の川上ダム建設所においては平成19年3月に、琵琶湖開発総合管理所においては平成20年3月に、ISO14001の認証を取得しています。

今後とも、環境マネジメントシステム(EMS)の定期的な見直しを行い、継続的な改善を図り、良好な環境保全のために取り組みを行っていきます。

ISO14001 マネジメントシステム登録証



登録活動範囲

淀川水系における水資源の開発及び管理に関する業務

登録事業所

水資源機構関西支社

関連事業所

中津川管理室、木津川ダム総合管理所、高山ダム管理所、青蓮寺ダム管理所、室生ダム管理所、布目ダム管理所、比奈知ダム管理所、一庫ダム管理所、日吉ダム管理所

環境方針

基本理念

近年、地球温暖化、生物多様性の減少、有害化学物質や廃棄物に起因する汚染など、地球規模から身近なものまで様々な環境問題が顕在化しています。人類が将来にわたり自然から得られる恵沢を享受し、生存し続けるためには、環境問題に対し行政、事業者、個人がそれぞれの役割を踏まえ環境保全に資する取り組みを行っていく必要があります。

私たち水資源機構は、安全で良質な水を安定してお届けするとともに、流域の水環境の保全や地域の活性化にも積極的に貢献することを経営理念としております。そして、淀川水系においてもダムや水路などの施設の管理や建設を通じて、生活や産業の基盤である水を安定的に供給するとともに、洪水などの被害から人々の生命や財産を守る事業を実施しています。こうした事業の実施に当たっては、地域の環境へ負荷を与えることが考えられるほか、資材、用品等の資源やエネルギーの消費を伴うことがあります。環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会の構築や地球環境保全に資することが当機構の社会的責務であるとの認識に立ち、これまで種々の環境保全に関する取り組みを行ってまいりました。

この取り組みをより一層充実させるため、水資源機構関西支社、木津川ダム総合管理所、一庫ダム管理所及び日吉ダム管理所は事業の実施に当たり、環境マネジメントシステム（ISO14001）を導入し、環境負荷の低減、良好な環境の保全と創出に努めてまいります。

基本方針

1. 環境保全に配慮した取り組みを推進します。

省資源、省エネルギー、リサイクルなどの環境負荷を低減するための取り組みや、淀川水系における河川環境等の保全活動を推進します。

2. 職員一人ひとりが積極的に環境保全に取り組みます。

環境教育などを通じて、環境に対する意識と知識の向上を図り、職員一人ひとりが積極的に環境保全に取り組みます。

3. 環境関連の法令等を順守します。

環境汚染を予防し、良好な環境の保全や創出を図るため、環境関連の法令等や当機構が同意するその他要求事項を順守します。

4. 環境情報を積極的に発信します。

環境保全に配慮した取り組みや環境に係わる情報を積極的に公表します。また、この環境方針は、職員等に周知するとともに一般に公表します。

以上の取り組みについては、環境目的、環境目標を定め定期的な見直しを行い、継続的な改善を図ります。

制定日 平成21年7月30日

更新日 平成22年2月10日